

## IT授業実施へのアプローチ

－ ハードルを下げる工夫 －

東京都立竹台高等学校 主幹 藤村 尋子

キーワード：教員、校務、研修、支援、ユーザビリティ

### 1. はじめに

情報科以外の教員が、IT機器を活用した授業、またはパソコン教室で実施される授業を行うことに対して必要以上に「構え」てしまう場面をしばしば目の当たりにする。残念なことである。このハードルを下げるために「身近なところ」で「等身大で」取り組んできた内容を紹介したい。

### 2. 実践内容

#### 2. 1 A高校（平成15年度～18年度に勤務）における例

A高校…JR王子駅よりバス15分徒歩3分のA区。

広い敷地。

3つのパソコン教室。

普通科だが、学系列選択科目制

（2、3年生で6単位ずつ『学系』科目を選択。スポーツ健康・福祉教養・情報ビジネス。多数の学校設定科目。）

（1）授業 必修「情報A」・『学系』科目

- ・必修科目 複数教員、多展開
- ・情報関係の学校設定科目（情報免許不要）
- ・教科会議 未経験の教員と指導案の検討 →リーダー養成
- ・専門的に活用中の教員と連携 音楽 楽譜制作ソフト



図1 フリーソフトによる楽譜作成

・「楽しい」授業 ビデオ編集 作曲 アニメーション

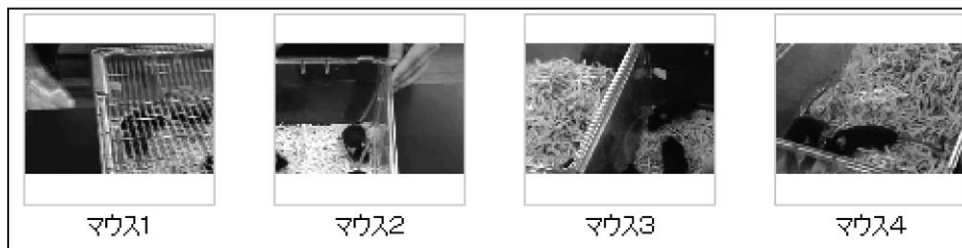


図2 ビデオ編集のために作成した素材

